

2億円事件。お正月働き方改革広告

株式会社幸楽苑ホールディングス

2億円事件。

いつからでしょうか。お正月にいろいろなお店が営業するようになったのは。
私たち幸楽苑も、いつしか年中無休のらーめんチェーン店を売りにしていました。

たしかに、企業にとって売上は大切。株価も大切です。
でも。それよりもはるかに大切なことがあります。
新社長になってはじめての仕事は、1月1日の売上およそ2億円を失ってでも、
その大切なものを守ることでした。

それは、『働く人の気持ち』です。

サービス業で働くことは、みんなが休む日に働くこと、ではありません。
働く人にも家族がいて、みんなに等しくお正月はやってきます。

そこで、64年の歴史ではじめて、普段一生懸命働いてくれている社員のために、
大晦日の夜と元日を、休業させていただきます。

働き方改革を、お正月にも。日本のお正月を変える、小さな事件となりますように。
お客さまだけでなく、一生懸命頑張っている社員にも『幸』せて『楽』しい時間を。
来年も、まだまだ未熟な私たちをどうぞよろしく願いたします。

株式会社幸楽苑ホールディングス代表取締役社長 新井田昇

日本の正月を変える事件になってほしい。
12月31日15時～1月1日終日、
売上2億円を削ってでも、全店休みます。



※1 フードコートの一部の店舗および当社が運営する、「いきなりステーキ」の店舗は除く。詳しくはHPへ、 <https://www.kourakuen.co.jp/>



- 掲載状況——2018年12月31日、朝日（東京）、東奥、岩手日報、河北、秋田魁、山形、福島民報、福島民友に掲載／全15段、カラー
- 広告活動——ツイッター
- 企画・扱い——博報堂、東北博報堂
- 制作——博報堂、東北博報堂、Final Fruits
- 制作スタッフ——Pro＝新井田昇、平松葉月、CD・C＝河西智彦、AD＝富田耕平、木戸真一、AE＝加藤久幸、引田龍一郎、中山洋一、倉橋貴史

●企画の概要と選定理由
働き方改革に注目が集まる中、ラーメンチェーン店にとって売り上げが多い年末年始にあえて休業することを、大みそかに告知した。休業により売り上げが失われることを「2億円事件」という具体的な数字のコピーで表現し、読者の目を引いたうえで、従業員を大切にする企業姿勢を示した。社会的な課題に対する会社の考え方を明確に示した広告はSNSでも話題となり、読者の共感を得た。企業への信頼、親近感を高めただけでなく、従業員のモチベーションアップにもつながり人材採用にも貢献した企業広告として高く評価された。

香害 2点シリーズ

シャボン玉石けん株式会社

日本に新しい公害が 生まれています。

その名は「^{こうがい}香害」

柔軟剤や、洗剤の人工的で過剰な香りに苦しんでいる人が増えています。
香りに含まれる化学物質が、めまいや吐き気、思考力の低下を引き起こす化学物質過敏症の原因の一つになります。
中には、友人や同僚の服についた香りにより、学校や職場に行けなくなるといった、深刻な問題を訴える人もいます。
当社が行ったインターネット調査において、「人工的な香りをかいて、頭痛・めまい・吐き気などの体調不良を起こしたことがある」と答えた人がなんと5割を超えていました。もはや、社会問題といってもいい割合ではないでしょうか。
エチケットのつもりでつけていたあなたの服の香りが、だれかの健康を奪っているかもしれない。
そこで、香り付柔軟剤や香り付洗剤を使う必要はあるのか。本来の機能とは関係のない、過剰な香料や添加物を使う必要があるのか。
シャボン玉石けんは、あなたに問いたい。



健康な体ときれいな水を守る。
シャボン玉石けん
www.shabon.com
電話無料ダイヤル ☎ 0120-4800-95
(平日 8:00~19:00 土曜 8:30~17:30 日曜・休日・休業)

※シャボン玉石けんによる「香り付洗剤に関する調査」(WPI調査)調査期間 2016年10月10日~20日、サンプル 115人

香害^{こうがい}を知ってください。

森田はやしまへ
学校がくさくて、じゃうなんざいのポスター
も学校にはってあるけど、みんなくさいふくち
きて、学校に来てるから、ますます学校に行
けなくて、ごまっています。
平成2018年3月18日

柔軟剤や洗剤の香りで日常生活を送れなくなる人が増えています。
この手紙は、ある小学生が当社に送ってきた手紙です。
香りに含まれる化学物質がめまいや吐き気、思考力の低下を引き起こす化学物質過敏症の原因の一つになります。
中には、友人や同僚の服についた香りにより、学校や職場に行けなくなるといった、深刻な問題を訴える人もいます。
当社が行ったインターネット調査において、「人工的な香りをかいて、頭痛・めまい・吐き気などの体調不良を起こしたことがある」と答えた人がなんと5割を超えていました。もはや、社会問題といってもいい割合ではないでしょうか。
エチケットのつもりでつけていたあなたの服の香りが、だれかの健康を奪っているかもしれない。
そこで、香り付柔軟剤や香り付洗剤を使う必要はあるのか。過剰な香料や添加物を使う必要があるのか。
シャボン玉石けんは、あなたに問いたい。

健康な体ときれいな水を守る。
シャボン玉石けん
www.shabon.com
電話無料ダイヤル ☎ 0120-4800-95
(平日 8:00~19:00 土曜 8:30~17:30 日曜・休日・休業)

- 掲載状況——2018年6月5日、6月9日、朝日、毎日に掲載／全15段、カラー
- 広告活動——インターネット、イベント
- 企画・扱い——BBDO J WEST
- 制作——トランス
- 制作スタッフ——PL=山内陽介、津郷由香、CD=古屋彰一、AD=脇田宏、C=古屋彰一、今井美緒、D=脇田宏、Ph=山田トモフミ、AE=池内道広

- 企画の概要と選定理由
香り付きの洗濯洗剤や柔軟剤が人気を集める中、香りに含まれる化学物質により体調不良を引き起こす「香害」が増えていることに警鐘を鳴らす広告を掲載した。添加物を使わない石けんを製造・販売する会社からの問題提起は、消費者の共感を集め、香害の実態を多くの人に認識させることに成功した。新しい問題を提示するという新聞の機能を生かすとともに、無添加石けんのパイオニアとして商品づくりへの決意を示した広告として高く評価された。

弊社 Wikipedia をいったんそのまま掲載します。

株式会社セブンツーセブン



なんの会社かわかりにくいという声にお応えし、弊社 Wikipediaをいったんそのまま掲載します。

セブンツーセブンでは新幹線から見える野立て看板を長年展開しており、おかげさまで多くの方に看板をきっかけに知っていただくことができました。一方で、「看板は知っているが何かが知らない」という方を航空会社・パチンコ屋などと誤認されている方も多く、会社のことを伝えるために社内で検討に検討を重ねました。CM・イベント・SNS など、様々な案が出ましたが、最終的に「もう、企業からあれやこれや伝えようとするより、Wikipediaを見てもらうのが手取り早い」という結論になり、今回の新聞広告掲載に至りました。

※ 弊社の化粧品は、正しい知識とサービスを兼ね備えたスタッフからのみお客様に届けたいという想いから、全国の美容室の中でも 2-3% の限られた美容室でしかお求めいただけません。現在、登録店を拡大中ですので、ご希望の美容室様がいらっしゃいましたらお気軽にお問い合わせください。株式会社セブンツーセブン ℓn 0120-170-727

- 掲載状況——2019年1月7日、朝日に掲載／全15段、モノクロ
- 企画・制作・扱い—電通、アド電通大阪
- 制作スタッフ——C=花田礼、AD・D=大原漢太郎、メディアプランナー=高橋貴大、AE=大橋萌美

- 企画の概要と選定理由
新幹線沿線に野立ての看板広告を展開することで認知度は高まっているものの、何をしている会社なのか知られていない現状を踏まえ、インターネット百科事典「ウィキペディア」を使った新聞広告を掲載し、化粧品メーカーであることを伝えた。ウィキペディアの自社ページをそのまま活用した大胆でシンプルなクリエイティブは、読者に驚きを与えるとともに、ネット上でも話題になった。新聞とネットをうまく掛け合わせ、端的な表現で企業への認知と理解を深めた広告として高く評価された。

新元号キンチョール（4月1日）

大日本除虫菊株式会社



- 掲載状況——2019年4月1日、日経に掲載／二連版全30段、カラー
- 企画・扱い——電通関西支社
- 制作——電通関西支社、モノリス
- 制作スタッフ——CD・C=古川雅之、AD=茗荷恭平、大松敬和、D=茗荷恭平、水江隆、Ph=村井眞哉、レタッチャー=濱中英華

●企画の概要と選定理由
新元号が発表される当日に、新しい時代にも愛される商品ブランドを目指す企業メッセージを「平成」発表時のスタイルを模して表現した。新元号に最も注目が集まる日に、多くの人の印象に残っているシーンをパロディーにした広告は、読者に大きなインパクトを与えた。掲載日がエープリルフールということもあり、ネット上で大きな話題となった。企業姿勢をユーモラスな表現でタイムリーに伝えた広告として高く評価された。

